

2016連合滋賀 平和行動IN長崎レポート

明石機械労組滋賀支部
近藤 健志

今年も連合平和4行動が開催され明石機械労組滋賀支部から長崎に派遣される。平和4行動とは6月から9月にかけて沖縄、広島、長崎、根室で開催され核兵器廃絶や在日米軍基地の整理、縮小、日米地位協定の見直しに向けた運動の一環としておこなわれる。



右から
日本バイリーン労組 高木さん
三菱重工労組 荻田さん
JP労組 長谷川さん
明石機械労組 近藤

場所:長崎県立総合体育館



8月9日 AM 11:00頃
長崎に原爆が投下され
7万人以上の方が被害にあう。
平和祈念式典での報道
関係者の数も非常に多いと
感じた。

場所:長崎平和公園

2016連合滋賀 平和行動IN長崎レポート

初日は長崎県立体育館で今では残り少ない原爆被害者の体験談を聞き原爆の被害の大きさを実感した。

二日目は長崎市主催の平和公園で行われる祈念式典に参加した後、連合主催のピースウォークと万燈流しに参加をし、三日目に帰路についた。



祈念式典では各国の大使、日本の政党代表者が集まり祈念を行う。遺族参列席には多くの方が参列し長崎市長が行う平和宣言を静かに聞いているのが印象に残った。

原爆資料館にはTVなどに映せない写真が多く掲示され、外国人も多く閲覧されていた。ピースウォークでは連合長崎青年委員会の方によるガイドツアーがあり街の至る所にある史跡、原爆資料館を案内してもらう。

場所：長崎平和公園周辺

早くから祈念式典会場には大勢の人が集まる。



広島、長崎で種類の違う原爆が投下されたという。



青年委員会によるピースガイド風景。

連合長崎 青年委員会、女性委員会によるピースウォーク。

